

2018年10月16日

日本アライアンス教団  
各教会・伝道所 御中

日本アライアンス教団  
理事長 田中 忍  
伝道部長 後藤一都

「 2017年度 東日本大震災支援献金のご報告とお願い 」

主の御名を賛美いたします。

さて、2011年3月11日、東日本を襲った大地震と大津波により被害を受けた人々を支援するために、引き続いて2017年度も支援献金を教団事務局までお送り下さいましたことを、深く感謝いたします。本支援献金は下記の表に示していますように、教団の支援ボランティア活動費と日本アライアンス・ミッションが石巻ニューライフセンターで行っている活動の支援費として用いさせて頂きましたことをご報告いたします。

2018年度への繰越金は、2018年度の石巻ニューライフセンターの活動支援費として用いさせていただきます。

2017年度 東日本大震災支援献金 会計報告

収入		支出	
前年度繰越金	757,669	石巻ニューライフセンター支援金(2017年度)	200,000
支援献金	161,140	振込手数料	144
利息	8	石巻ニューライフセンター固定資産税	56,600
		石巻ニューライフセンター火災保険	123,340
		次年度繰越金	538,733
合計	918,817	合計	918,817

〈 今後の支援活動についてのお願い 〉

東北の被災地に暮らす人々の支援の必要性から、教団として石巻ニューライフセンターの働きを、人的、経済的に支援することが、2013年9月の理事会において決議され、2013年9月から2017年9月までの4年間、日本アライアンス・ミッションの行う支援活動に協力してきました。その後、2016年10月の合同協議会において日本アライアンス・ミッションより、今後も東北支援活動を継続する方針であることが報告され、これを受けて、日本アライアンス教団としても引き続き2017年10月から2021年10月までの4年間、ミッションの行う支援活動に協力することが教団理事会において決議されました。

震災後7年が経過し、仮設住宅の統合など生活環境の変化が地域の課題となっております。未だ癒されない心の傷を抱え、様々な不安の中で暮らしておられる方もあります。現地の必要や、求められる支援活動の内容も時間の経過と共に変化しています。

2017年～2018年は石巻ニューライフセンターのアラン・クロップ師が1年間のアメリカへの帰国年であったため、東北支援ボランティア活動は行いませんでしたが、教団としては、今後も日本アライアンス・ミッションの働き、石巻ニューライフセンターの活動への協力と支援を継続的に行っていく予定です。皆様のご加禱とご協力を宜しくお願い申し上げます。